

YGアンカー 施工マニュアル【RC下地】

販売店・工事店様用

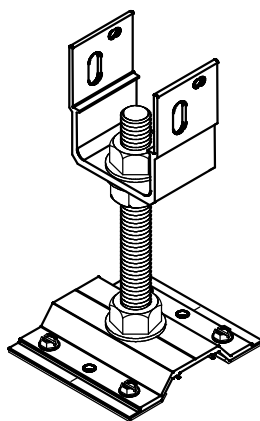
もくじ

1. 架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p1
2. YGアンカー・・・・・・・・・・・・・・・・ p3

◆ 仕様 ◆

太陽電池モジュール 横置

縦横対応



設置工事をされる方へお願い

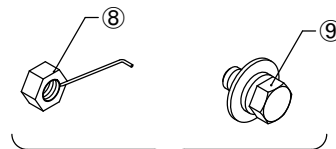
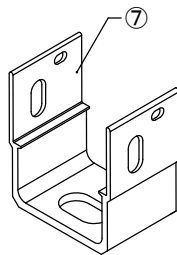
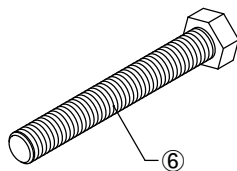
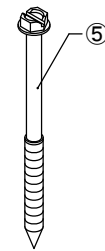
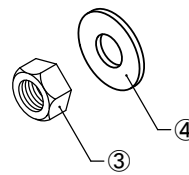
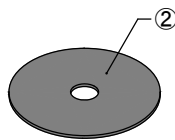
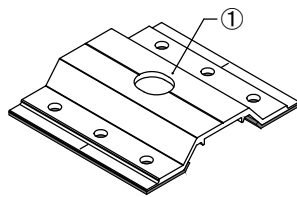
- 据付工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
 - 据付工事は高所（2m以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電の恐れもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
 - コーキング材を使用する場合、保護眼鏡、保護衣、保護手袋など適切な保護具を着用してください。
- 取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
- 本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
- 建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

1. 架台

1) 支持部材

① YGアンカーL-120セット

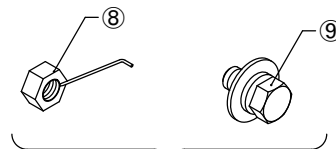
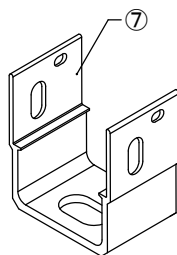
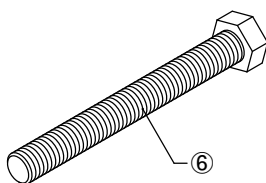
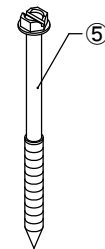
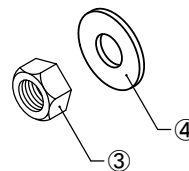
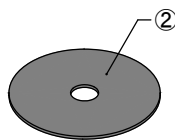
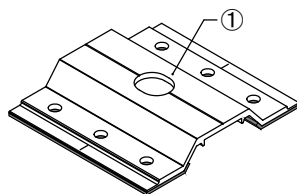
品名	数量
① M16アンカーベースプレート	1
② キャップφ70	2
③ M16ナット	3
④ M16ワッシャー	3
⑤ コンクリートビス 6.0×90	4
⑥ M16×120ボルト	1
⑦ 縦棧固定金具	1
⑧ M8リボンナット	2
⑨ M8-18セムスポルト	2



※『YGアンカー施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦棧を固定する際に使用します。

② YGアンカーL-140セット

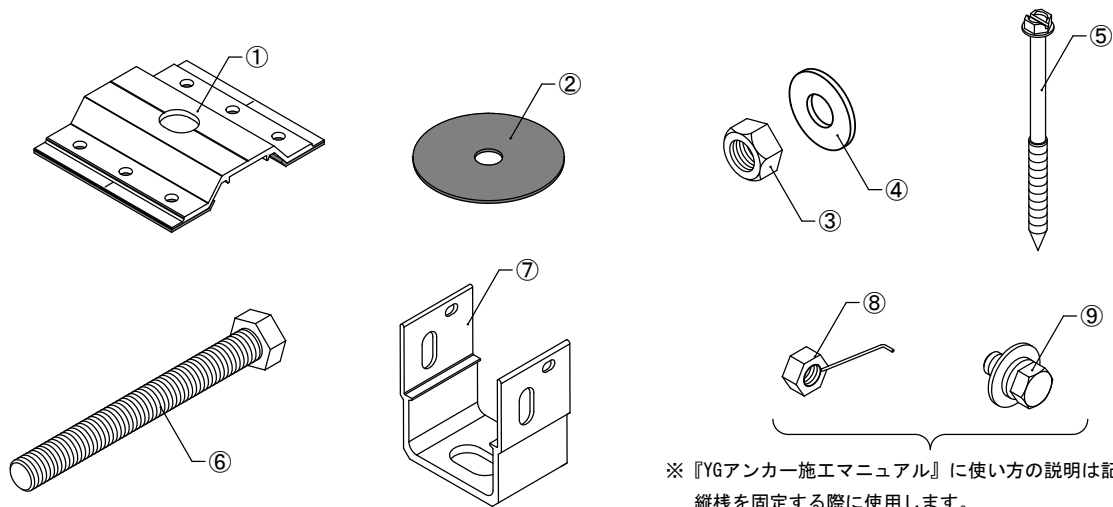
品名	数量
① M16アンカーベースプレート	1
② キャップφ70	2
③ M16ナット	3
④ M16ワッシャー	3
⑤ コンクリートビス 6.0×90	4
⑥ M16×140ボルト	1
⑦ 縦棧固定金具	1
⑧ M8リボンナット	2
⑨ M8-18セムスポルト	2



※『YGアンカー施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦棧を固定する際に使用します。

③ YGアンカーL-150セット

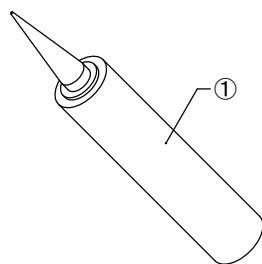
品名	数量
① M16アンカーベースプレート	1
② キャップφ70	2
③ M16ナット	3
④ M16ワッシャー	3
⑤ コンクリートビス 6.0×90	4
⑥ M16×150ボルト	1
⑦ 縦棧固定金具	1
⑧ M8リボンナット	2
⑨ M8-18セムスポルト	2



※『YGアンカー施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦棧を固定する際に使用します。

④ コーキング

品名	数量
① コーキング	1



※金具10個／本

2. YGアンカー

1) YGアンカーの組み立て

下記作業は、地上で行ってください。

- ①M16アンカーベースプレートに取り付けるM16ボルトの長さを確認してください。

※取り付けるM16ボルトの長さは瓦の種類によって異なります。

M16ボルトの長さ※1	瓦の種類
150mm	S瓦
140mm	和瓦
120mm	平板瓦、二山瓦※2

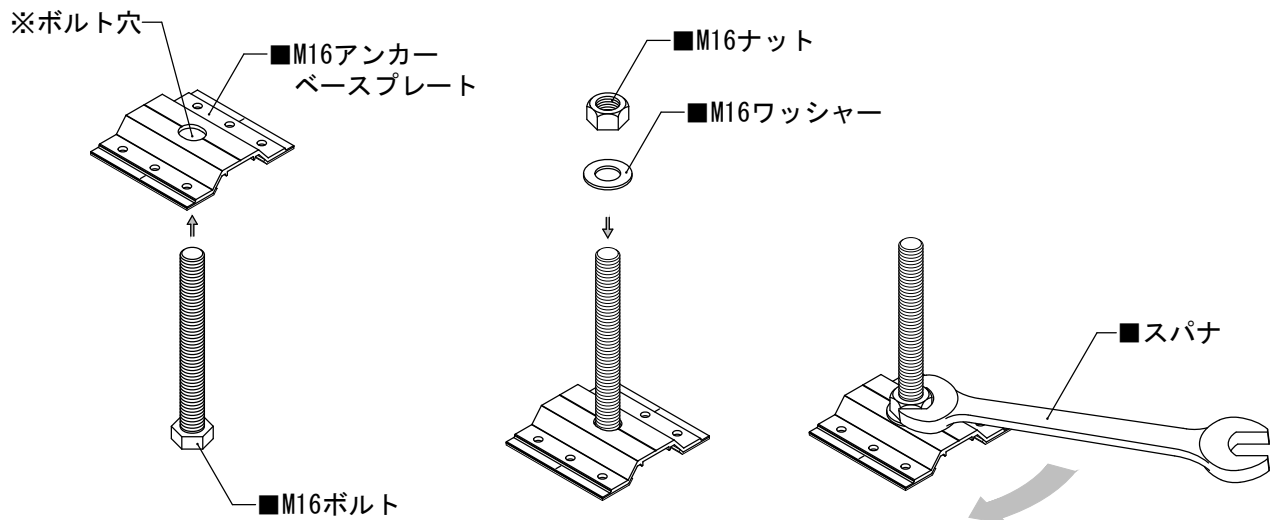
※1 瓦棧木15~18mm、流れ棧4mm程度の場合とする。

※2 二山瓦の場合は山部と谷部の高低差を測定し45mm以上はボルト長さ140mmを使用してください。

！ 注 意

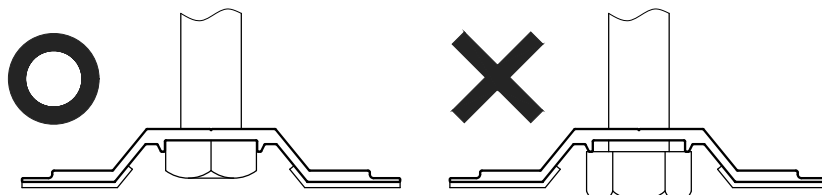
M16ボルトの長さは瓦の種類に合ったものを使用してください。長さを間違えると施工できない場合があります。

- ②M16アンカーベースプレートの裏面からボルト穴にM16ボルトを差し込み、M16ワッシャー、M16ナットを入れ、スパナで仮固定します。



！ 注 意

M16ボルトがM16アンカーベースプレートの溝に入っていることを確認してください。施工時に隙間ができてしまい正しく施工できません。

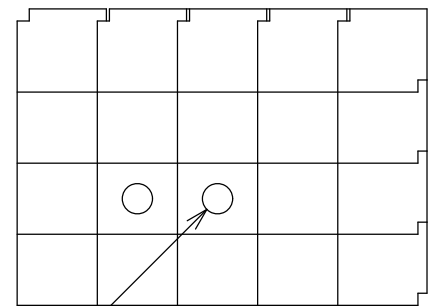
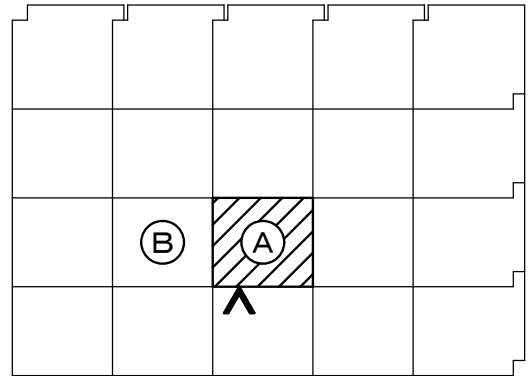


2) 瓦の撤去 ※既設屋根の場合は、瓦の撤去が必要です。

①「和瓦」の場合

支持部取付け位置にある既存の瓦の撤去は、下記の手順の通りです。

- (i) 支持部取付け位置の下段の瓦に ▲マークをチョーク等で付けます。
- (ii) 瓦を (A)、(B) の順に2枚外します。
外した瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管してください。

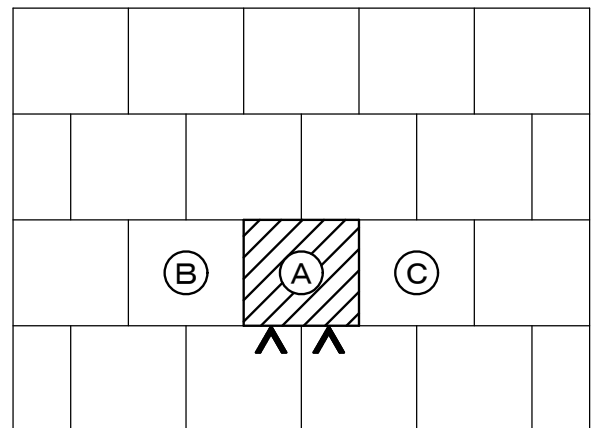


取り外し後
復旧する瓦 (O)

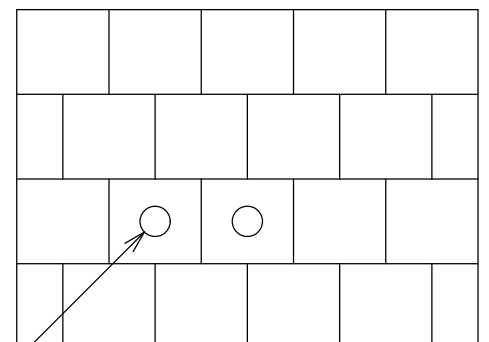
②「平板瓦」の場合

支持部取付け位置にある既存の瓦の撤去は、下記の手順の通りです。

- (i) 支持部取付け位置の下段の瓦に ▲マークをチョーク等で付けます。
- (ii) 左側に支持部を設置する場合は (B)、(A) の順に瓦を2枚外します。
右側に支持部を設置する場合は (A)、(C) の順に瓦を2枚外します。



外した瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管してください。



取り外し後
復旧する瓦 (O)

※左側に支持部を設置する場合

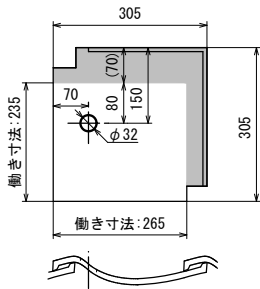
※瓦の外し方は瓦の種類によって異なります。
※瓦の撤去は2枚としておりますが、施工が困難と判断される場合は、必要枚数 瓦を撤去してください。

3) 瓦の穴あけ

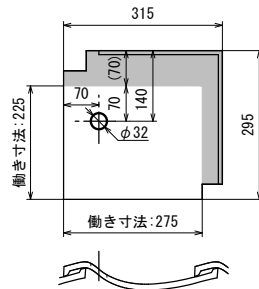
①【穴あけ位置詳細】に従って瓦の穴あけ位置にマーキングをします。

【穴あけ位置詳細】 単位: mm

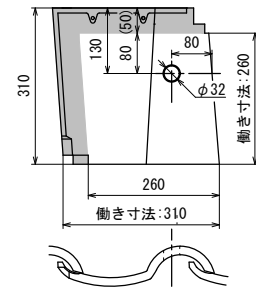
和瓦: 53A



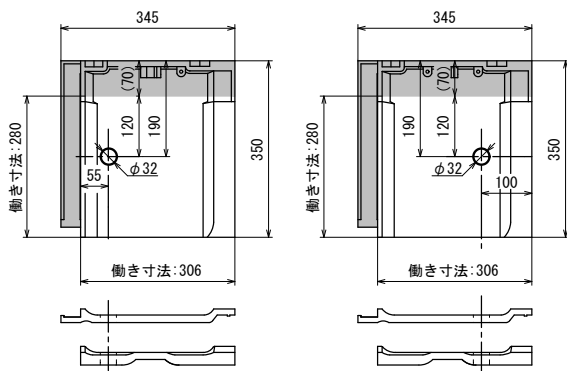
和瓦: 53B



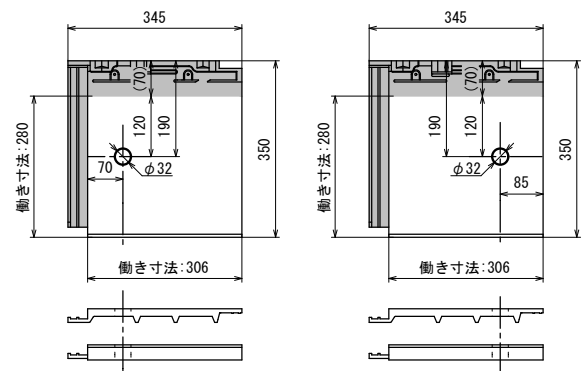
S瓦: 49A



平板瓦: Uタイプ

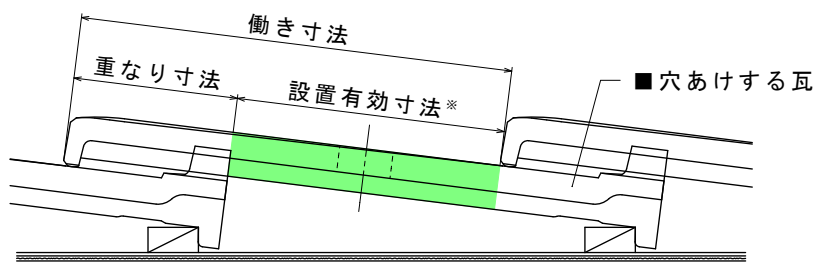


平板瓦: Fタイプ



！ 注 意

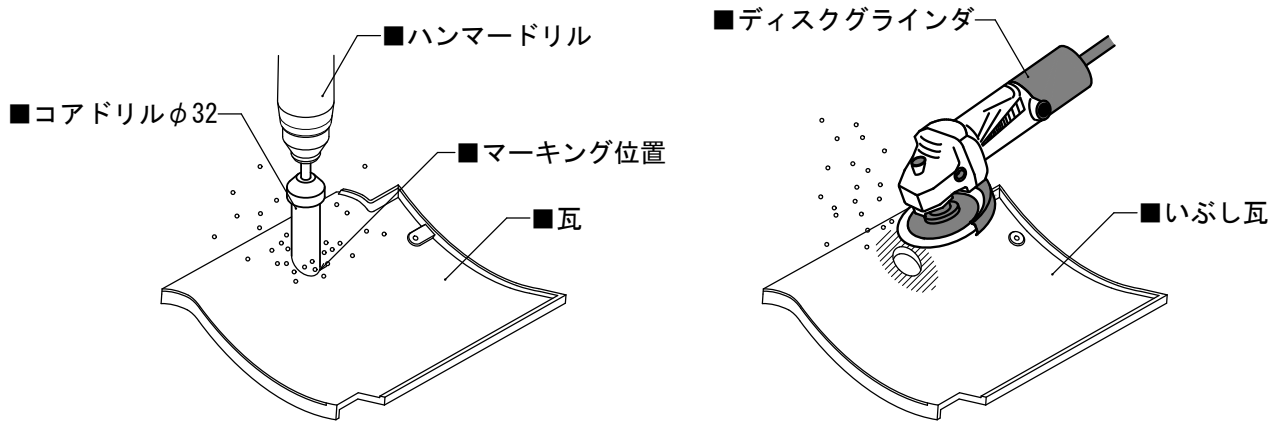
- ・ 瓦の重なり部への取り付けはできません。
 - ・ 現場で穴あけ位置を必ず確認してください。
 - ・ 上記に属さない瓦は下記の穴あけ位置にマーキングをしてください。
軒棟方向は設置有効寸法※の中央にマーキングを行ってください。
左右方向の穴あけ位置は上記を参考にしてください。
- ※設置有効寸法は170mm以上とします。



② マーキングした瓦にコアドリルφ32で穴をあけます。

※事前にコンクリートドリルで深さ2~3mm削ると穴あけがスムーズに行えます。

また、いぶし瓦に限り、穴の中心から直径80mm程度ディスクグラインダ等で瓦の表面を削ります。



お願い

施工前には必ず予備瓦を準備してください。

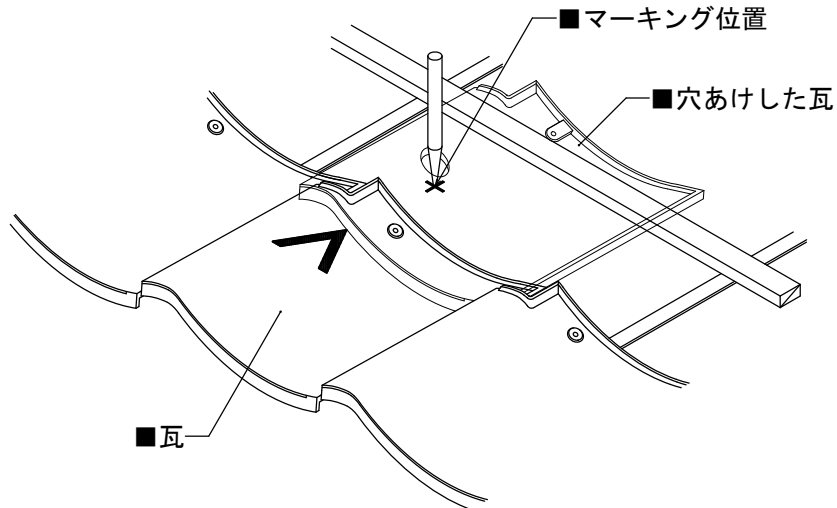
！ 注意

ハンマードリルの回転モードで穴あけしてください。
振動、打撃を加えると屋根材が破損します。
穴は野地板に直角になるようにあけてください。
瓦が割れた場合は必ず新品と交換してください。

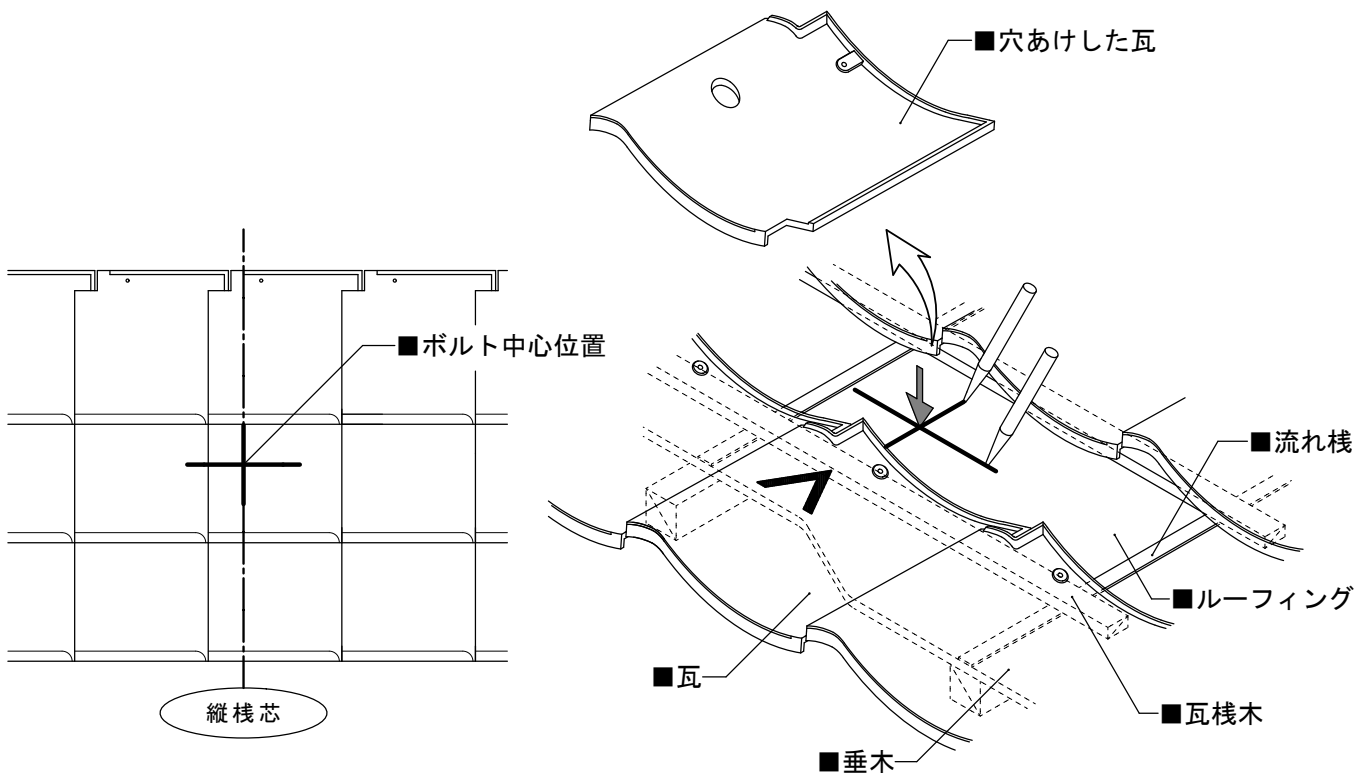
③ 穴あけ後は瓦をきれいに洗浄してください。

4) YGアンカーの設置

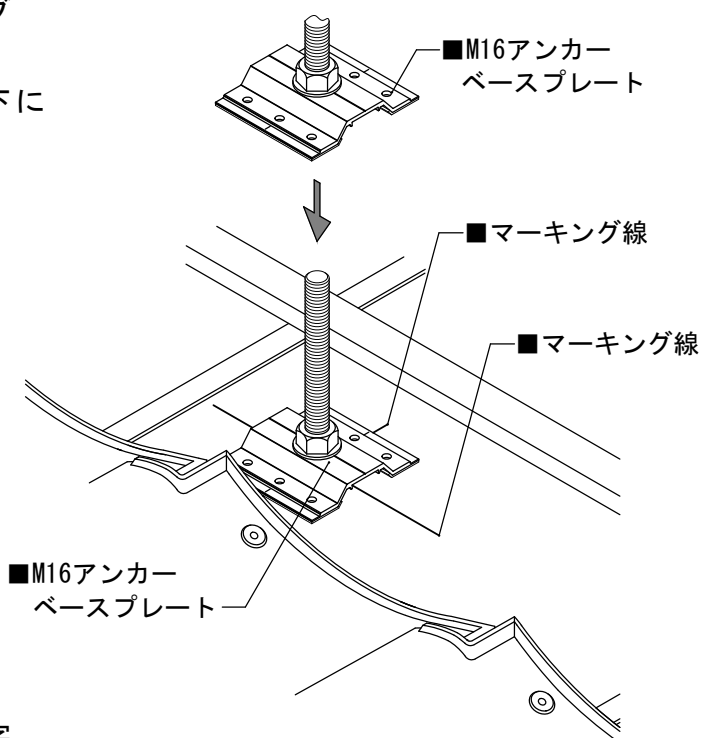
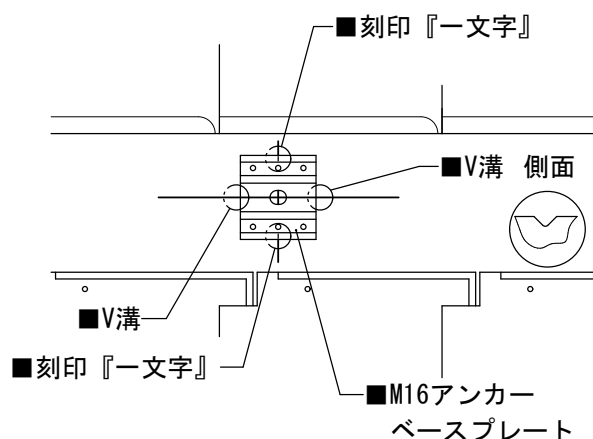
- ①ルーフィング上の汚れを取り除きます。
- ②穴あけした瓦を支持部取付位置に戻し、ルーフィング上にボルト中心位置をマーキングします。



- ③穴あけした瓦を外し、マーキング位置を中心に、縦線と横線を引きます。流れ棧に接触する場合は、流れ棧をカットしてください。



- ④M16アンカーベースプレートの『V溝』と『一文字』がマーキング線に合うことを確認します。
 ※『V溝』が左右、『一文字』が上下になるように配置してください。



※マーキング線と金具のV溝と一文字が合わない場合、マーキング線を引きなおしてください。

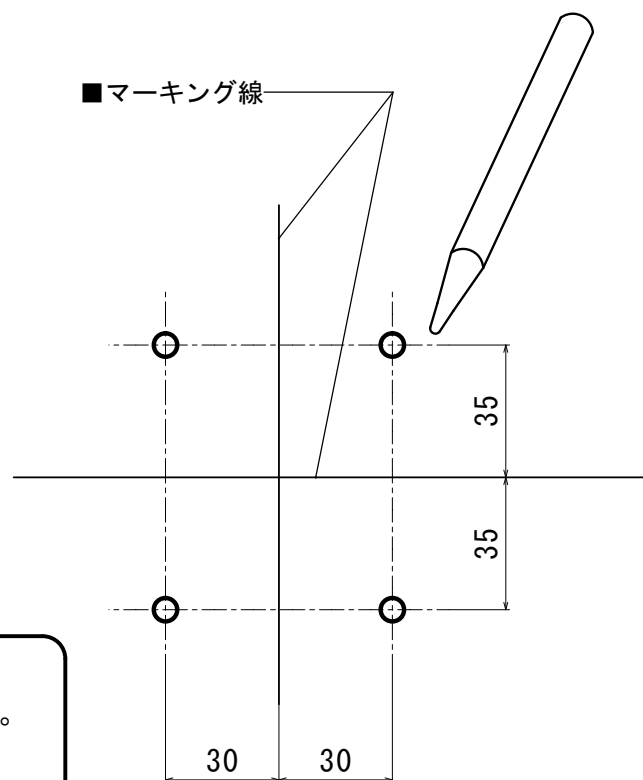
！ 注意

V溝と一文字がマーキング線と合うことを必ず確認してください。コンクリートビスが入らなくなる恐れがあります。

- ⑤下穴位置のマーキング

- マーキング線より下穴位置のマーキングをする場合

(i) マーキング線から上下に35mm、左右に30mmずつマーキングをします。



！ 注意

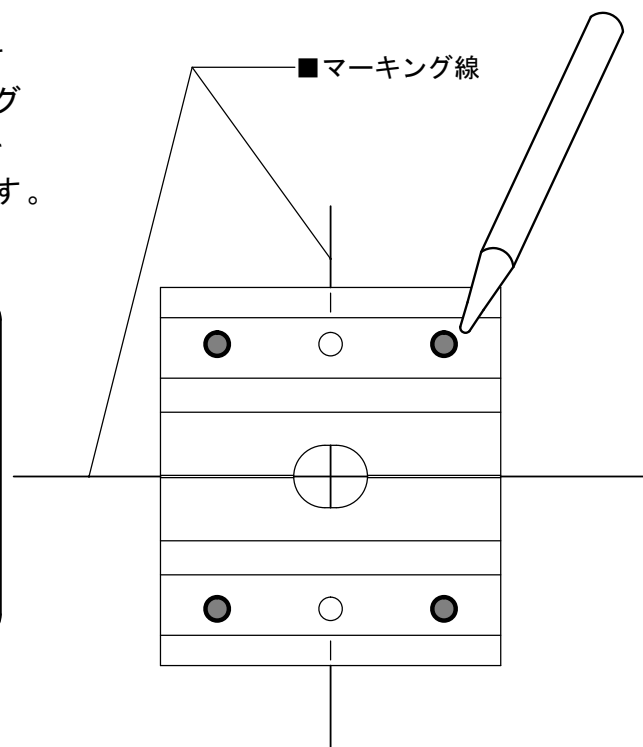
穴位置は正確にマーキングしてください。下穴と金具穴が合わない場合、コンクリートビスが入らなくなります。

● 治具を用いて下穴位置のマーキングをする場合

- (i) マーキング用にブチルに穴をあけた金具のV溝と一文字をマーキング線に合わせ、コンクリートビスを留める穴を4ヶ所マーキングします。

！ 注 意

中心2点の金具穴は使用しないでください。
穴位置は正確にマーキングしてください。
下穴と金具穴が合わない場合、コンクリートビスが入らなくなります。

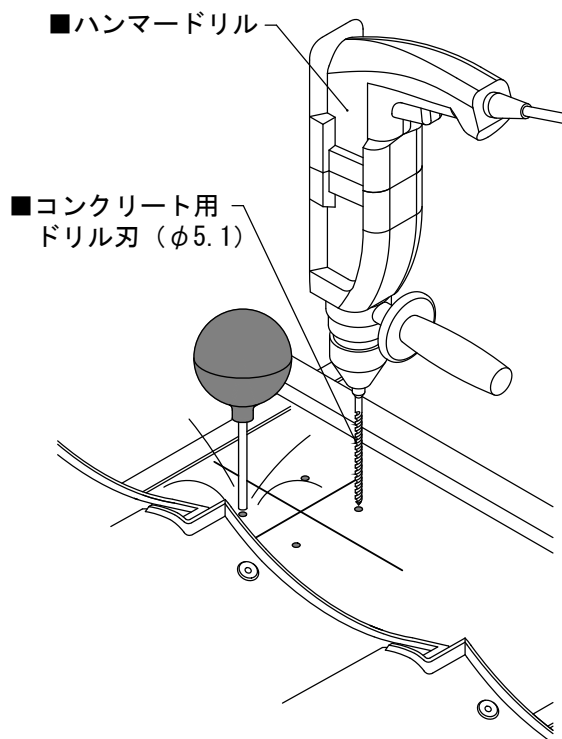


- ⑥ 下穴位置に、 $\phi 5.1$ のドリル刃を取り付けたハンマードリルで、モルタル、RC躯体に下穴をあけます。

この際の下穴深さは、下葺き材から約100mmとなります。

！ 注 意

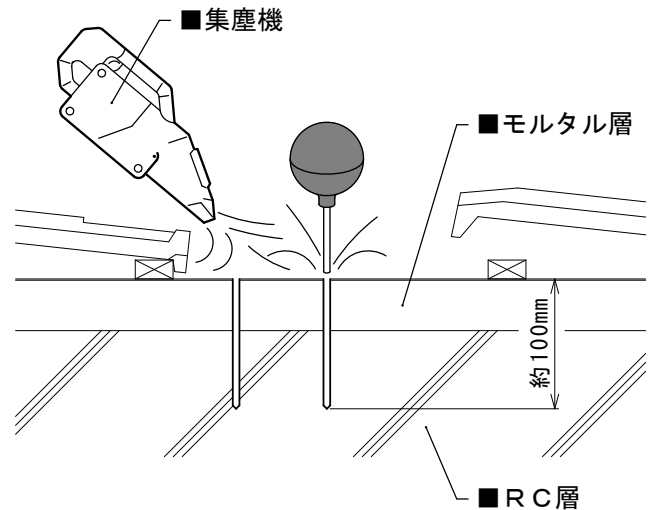
下穴深さは、必ず守ってください。
コンクリートビスが取り付けられなくなる恐れがあります。



- ⑦下穴加工の際の切粉を集塵機などで取り除きます。

！ 注 意

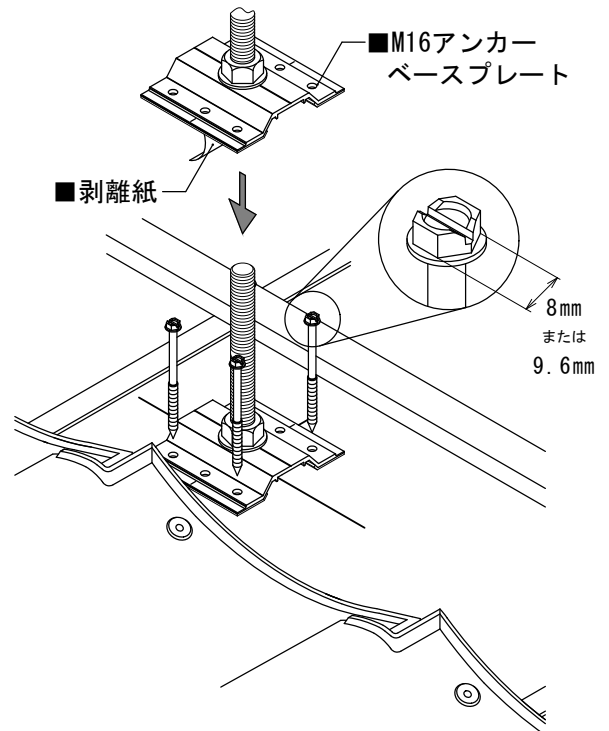
切粉は必ず除去してください。
防水性が損なわれる可能性があります。
切粉が下穴に残っていると、コンクリートビスが取り付けられない恐れがあります。



- ⑧M16アンカーベースプレートの剥離紙を剥がし、『V溝』と『一文字』がマーキング線に合うように配置します。
M16アンカーベースプレートをコンクリートビスで固定します。

！ 注 意

コンクリートビスの頭は、対辺8mmまたは9.6mmのいずれかが納品されます。ソケットは両方ご用意ください。



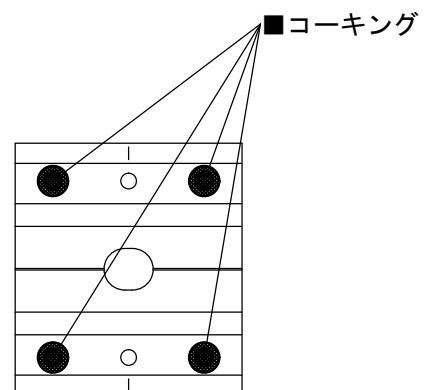
！ 注 意

ルーフィング上の汚れは確実に取り除いてください。密着性が損なわれ雨漏りの原因となります。

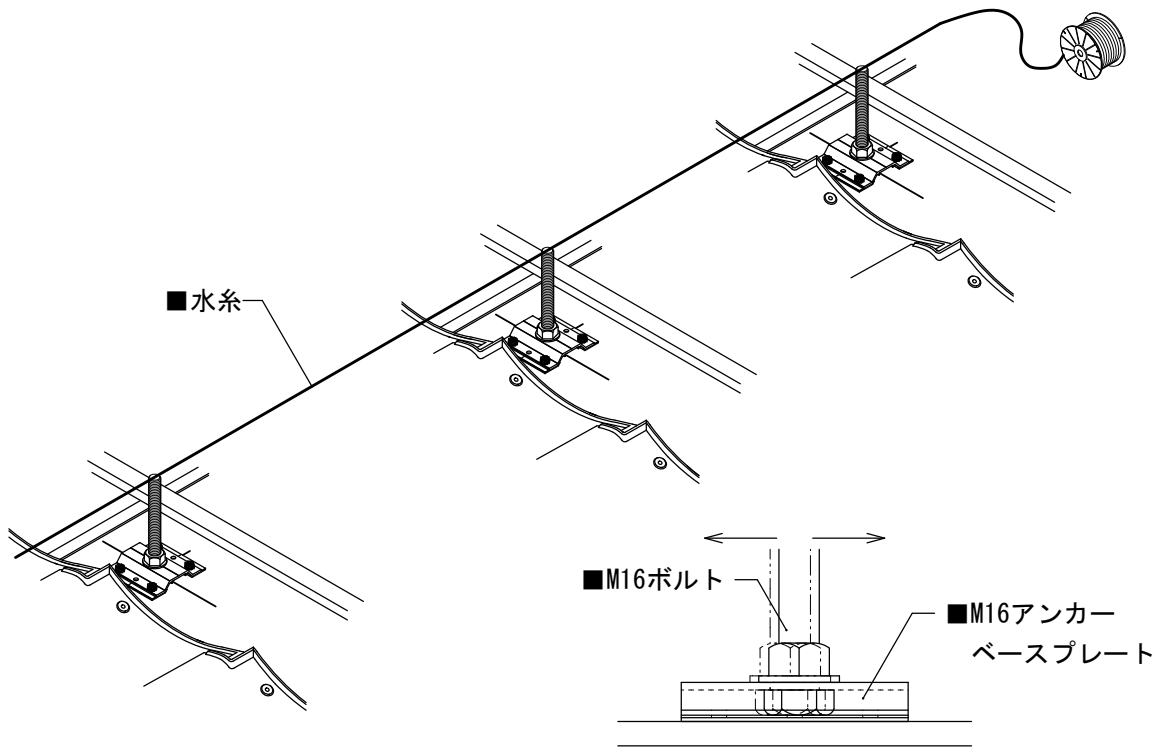
！ 注 意

作業後、コンクリートビス頭がM16アンカーベースプレートに密着していること、M16アンカーベースプレートが野地板に密着していることを確認してください。

- ⑨全てのネジ頭にコーキングを施します。(4箇所)



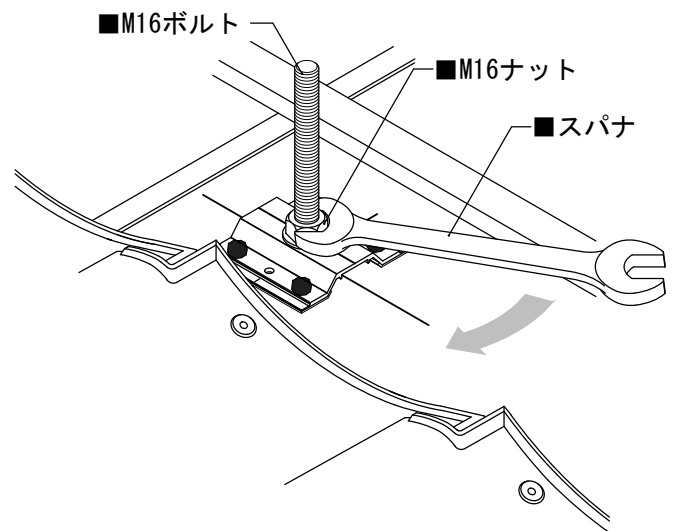
⑩水系でM16ボルトの通りを合わせます。



⑪M16ナットをスパナで本締めします。本締め後、M16ボルトが動かないことを確認してください。

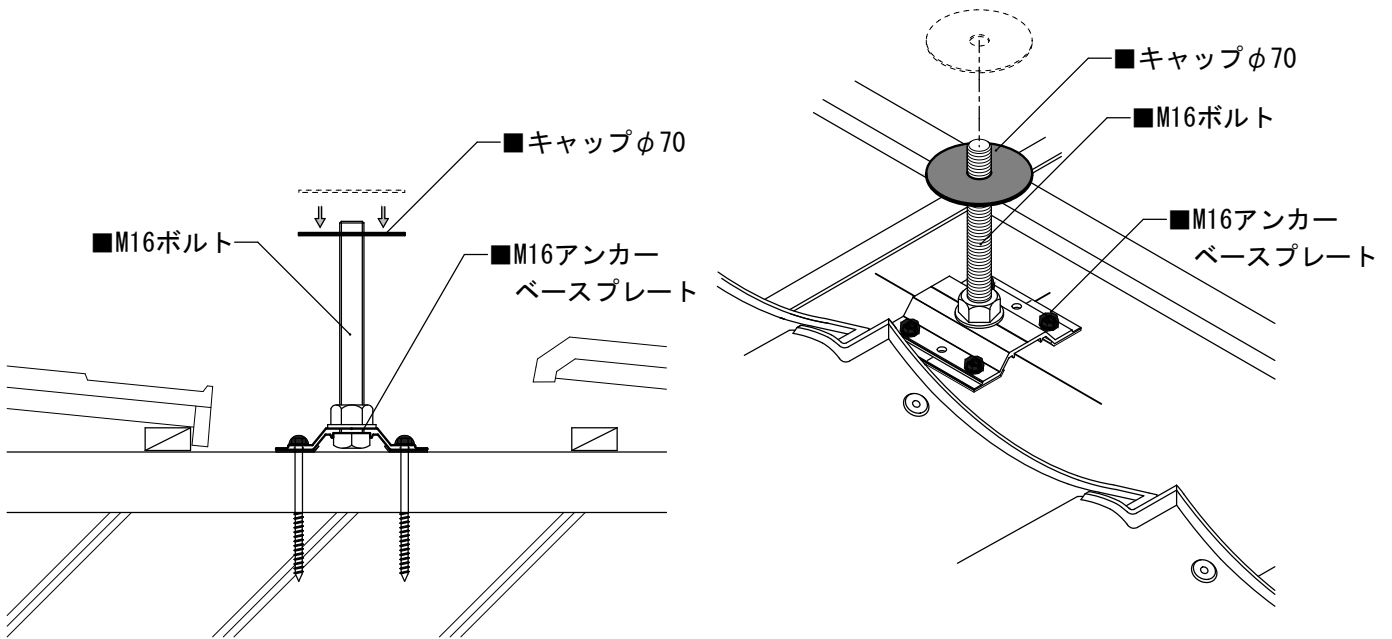
！ 注意

締めつけが不足すると緩みの原因となります。

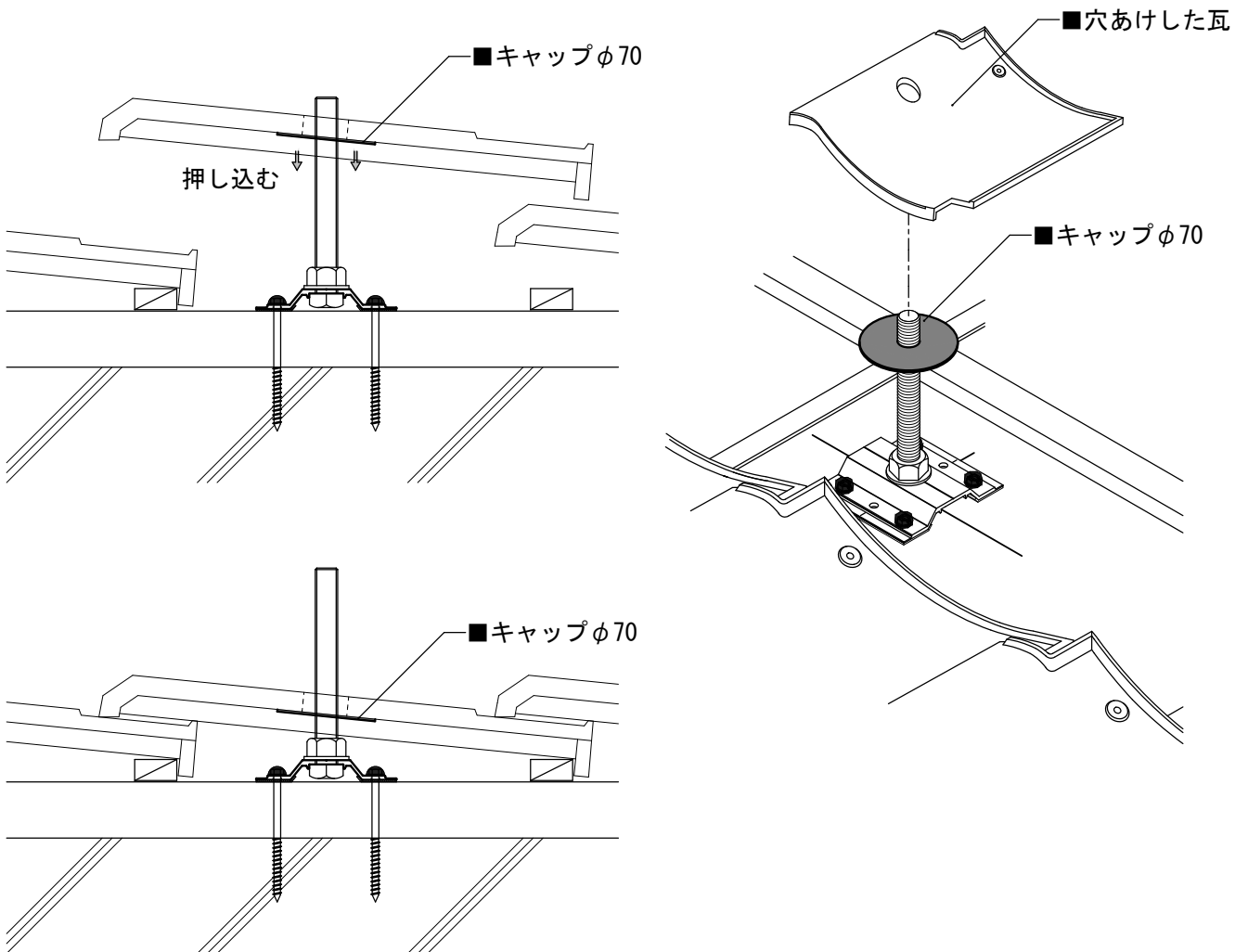


5) 瓦の葺き戻し

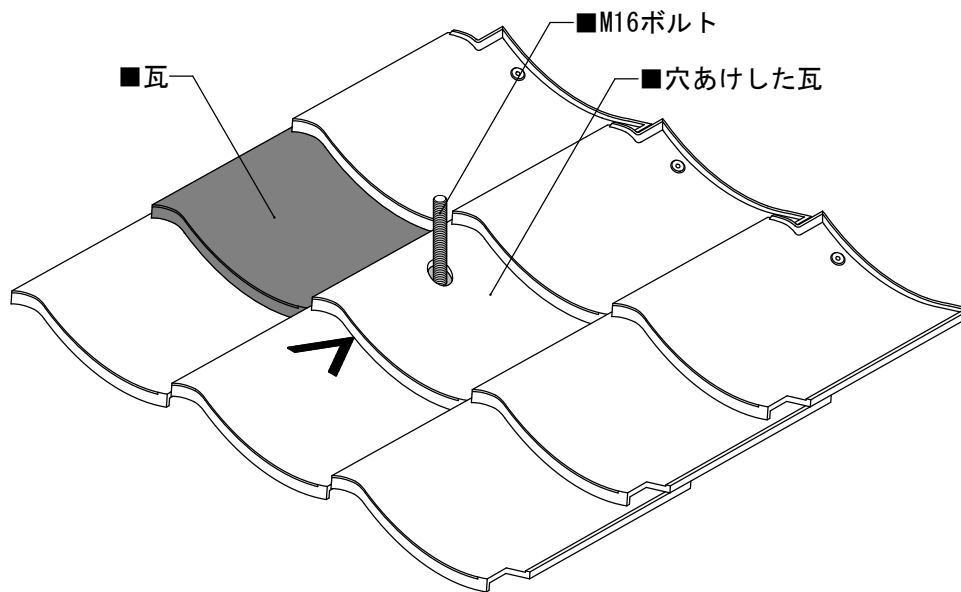
① M16ボルトにキャップφ70を10山程度入れます。



② 穴あけした瓦でキャップφ70を押し込みながら葺きます。



③周囲の瓦を葺きます。



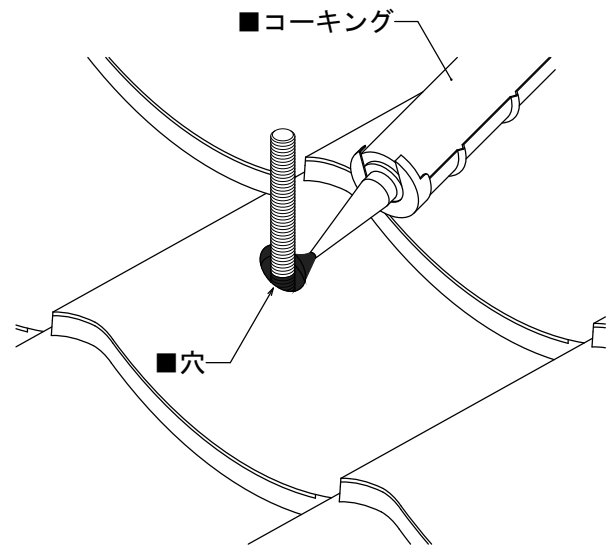
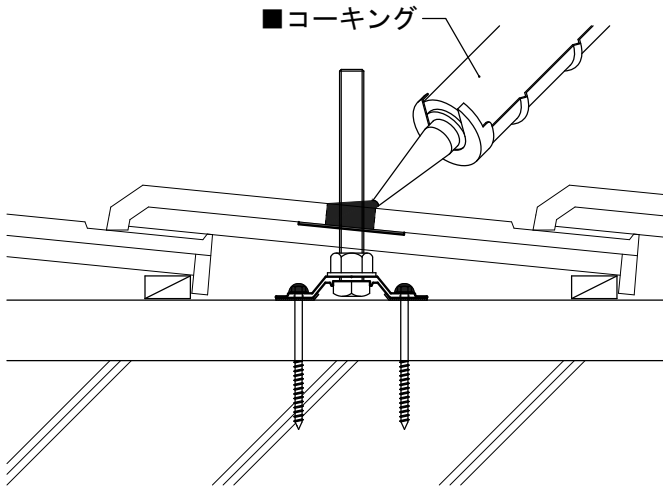
※瓦をもどす際には、最新の「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」の「補修施工」に従い施工を行ってください。

！ 注 意

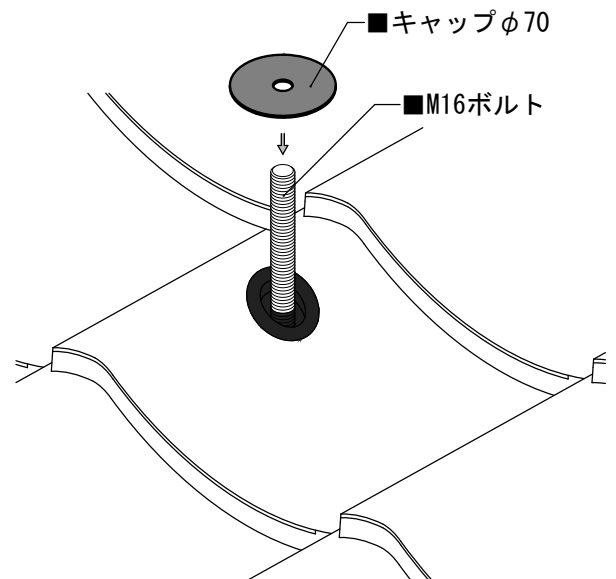
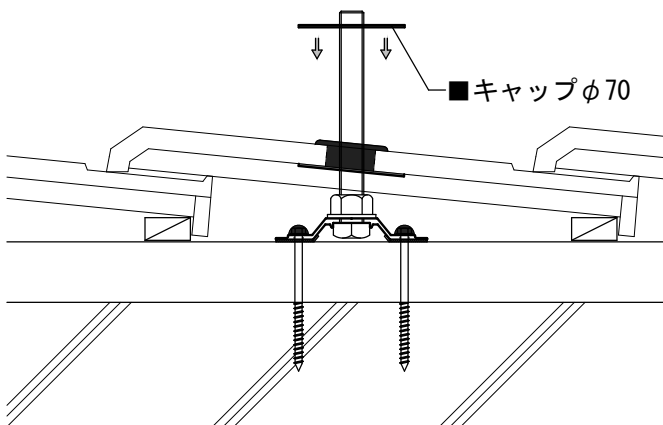
瓦が割れた場合は必ず新品と交換してください。

6) 防水処理

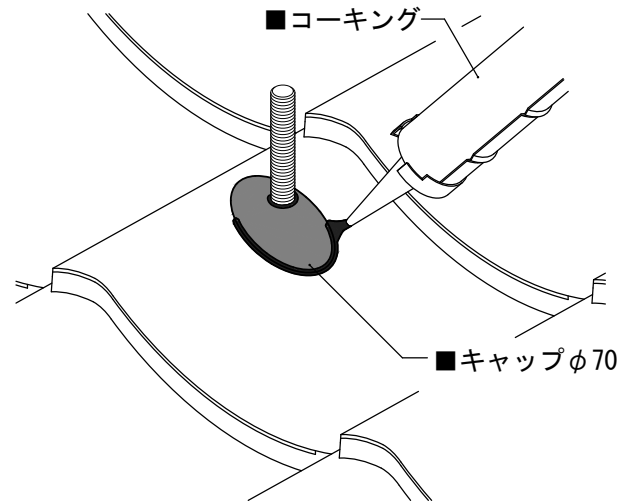
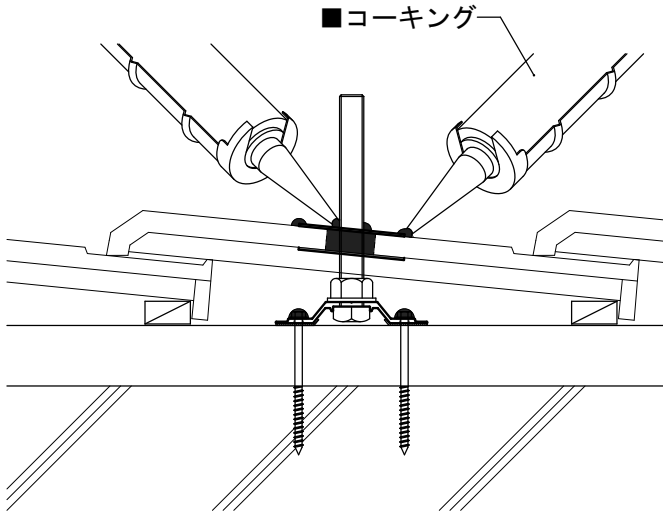
- ① 瓦の穴とM16ボルトの隙間にコーキングを注入します。
注入後、隙間なくコーキングされていることを確認してください。



- ② M16ボルトにキャップφ70を取り付けます。
キャップφ70は瓦の形状に沿うように取り付けてください。

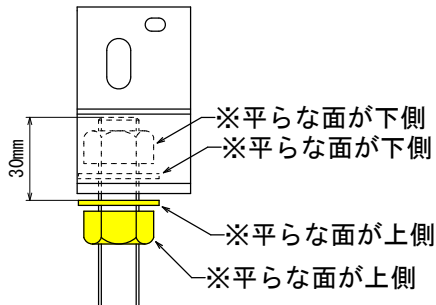


- ③ キャップφ70の周りを清掃し、
キャップφ70の外と内にコーキ
ングを施します。



7) 縦棧固定金具の取り付け

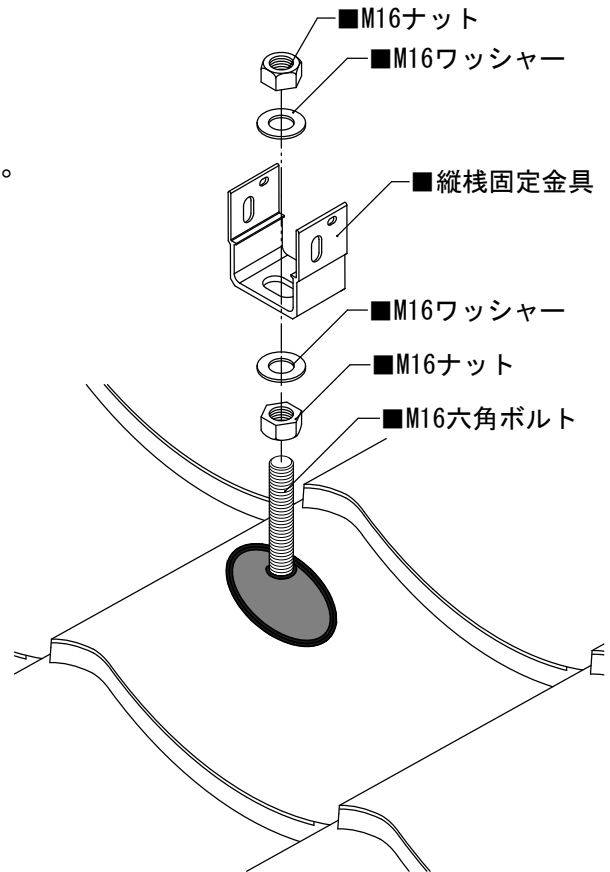
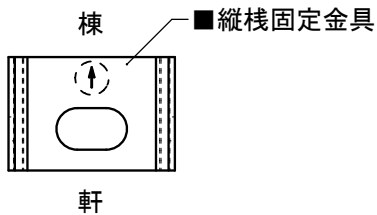
- ① M16ボルトにM16ナット、M16ワッシャー、縦棧固定金具、M16ワッシャー、M16ナット、M16六角ボルトの順に入れます。



！ 注意

縦棧固定金具の向きに注意してください。

『↑』を棟側にしてください。

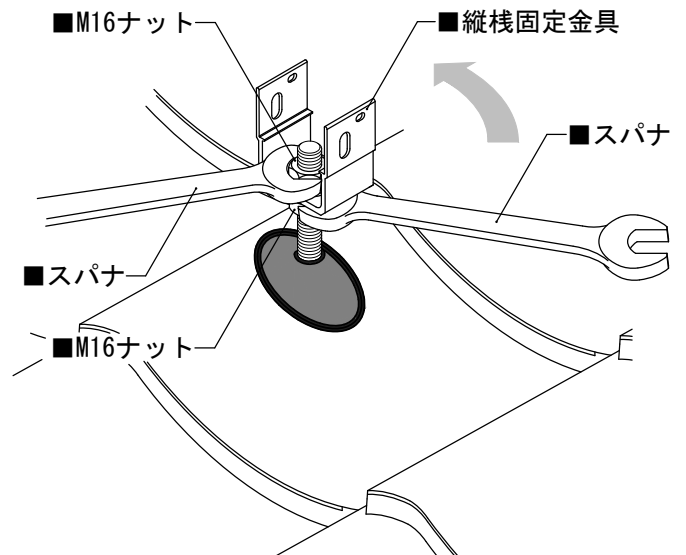


- ② 縦棧の通りを調節し、M16ナットを締め付け、縦棧固定金具を固定します。

(スパナで仮固定し、トルクレンチで16N・mまで本締めをします。)

！ 注意

締め付ける際、縦棧固定金具が回転しないようにしてください。上側のM16ナットをスパナ（またはトルクレンチ）で押さえながら、下側のM16ナットをスパナで締め付けます。



⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール据付工事説明書（施工マニュアル）』又は『流通調達架台据付工事説明書』又は『傾斜屋根置据付工事説明書』をご参照ください。

